

東日本大震災 全日本民医連支援ニュース

現地の仲間・住民と連携し「民医連ここにあり」の心意気でともに力を合わせて頑張らしましょう！

NO. 31 2011. 4. 9 10:00 発 全日本民医連対策本部

Mail : taisaku-honbu@min-iren. gr. jp

◆「5月を展望して 東日本大震災支援の考え方について」を発信◆

4/8付で、震災対策本部より標記文書を発信しています(☆添付ファイルをご覧ください)。これまでの支援内容に確信をもち、「現地・被災者が何求めているか」を大切に、長期間にわたる支援に取り組んでいきましょう。

5月については、現地の状況や情勢次第で支援内容や支援先の変更があり得ますが、基本的に4月2日臨時理事会で確認した各地協への支援要請にもとづいて予定を組んでください。

被災地のライフライン復旧状況 (4/8 17:00現在)

＜坂＞ 電気は17:00過ぎに復旧しました。トイレは、通常通り使えます。但し、一号館は、変圧器が損壊し停電が続きます。非常用蛍光灯を設置して宿泊場所を確保しました。食堂は、病院へ移動しました。

また、内科以外の外来は病院で行います。通電し通常に戻りましたので支援者の食事の変更はありません。

＜松島＞8日15:20過ぎに電気が復旧しました。電気、水、ガスのライフラインは地震前に戻りました。

＜岩手／大船渡＞徐々に電気の復旧が進んでいますが、停電で地下水のくみ上げができない状況です。

＜小名浜＞3/11の地震発生以来、不通であった水道が4/8に復旧したそうです！最高時、1日10回にも及んだ水汲み作業(片道30分余り)から開放されます。今後、地域を広く見渡した活動が期待されます。なお、7日深夜の地震による被害はいまのところないようです。

宮城支援に入るみなさんへ

現時点での、支援者の持ち物について留意点をお知らせします。なお、現地の状況は日々少しずつ変わりますので、若干の相違は出ます。ご了承下さい。

＜坂・長町・宮城野の里＞

- ・食事は2食分程度(すぐ食べられるもの・非常食)と飲料水はペットボトル500ml×1～2本程度をご持参下さい。現地滞在中の食事は基本的に提供されますが、おやつ・副食は各自の判断で。
- ・食器は、マイ箸・マイ食器・マイカップをお持ち下さい。
- ・シャワーは可ですが、全員が毎日入れるわけではありません(1人15分)。
- ・寝具はシュラフ、床に敷けるもの(キャンプシートなど)があるとよいです。毛布はあります。
- ・物資区分けや地域訪問(片づけなど)があるため軍手、厚手のビニール手袋(洗い物用)をご持参下さい。
- ・医師・看護師は、血圧計、聴診器、体温計を持参下さい。

＜松島＞

- ・布団はあります。シーツ、枕はご持参下さい。
- ・食糧、飲料水は滞在中の支援者自身の分はご持参下さい。
- ・靴は汚れてもよいものを。雨が降るとかなりぬかるみます。長靴はがあると便利です。軍手、マスクが必要です。

診療報酬の請求に関わる4/8付Q&A!

4/8付事務連絡で、診療報酬の取り扱いについてQ&Aが出されています。ご確認ください。他の医療機関を受診した際の入院基本料等の減額について、透析限定で規制がはずされました。

東京新聞での報道が契機の様です(☆事務連絡、および新聞記事を添付します)。まだ透析患者限定ですが、実態を突きつけて規制を外すことができました！

支援者到達 (9日現在) : 1,794人 (医師287、薬剤師109、看護師525、技術系324、事務他549)

本日の支援者数は(移動含む)176人。延べ数は8,264人となりました！

支援募金到達: 1億3200万円を超えました！(厚生事業協の被災地法人支援も合算しています)

◇全日本民医連支援ニュースの活用をお願いします◇

☆状況は刻々と変わります。各県連におかれましては、各事業所にリアルタイムに転送をお願いします。